

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 平成28年度第5回水戸市行政評価委員会
- 2 開催日時 平成28年10月5日（火）午後2時30分から午後3時30分まで
- 3 開催場所 本庁舎南側臨時庁舎中会議室
- 4 出席した者の氏名
  - (1) 委員  
今村一真，大谷由美子，高島和子，水庭清隆，吉田勉（氏名五十音順）
  - (2) 執行機関  
高橋靖，荒井宰，櫻井和則，深谷晃一，千田寛，吉川彩美，畠山明子
  - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
  - ・ 答申書の確認（公開）
  - ・ 答申（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数 0人
- 8 会議資料の名称  
答申書

9 発言の内容

○**執行機関** 本日は、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、平成28年度第5回水戸市行政評価委員会を開会させていただきます。本日は答申書について確認した後、市長への答申を行う予定となっております。それでは、議事進行につきましては、\_\_\_委員長をお願いいたします。

○\_\_\_**委員長** 会議次第に基づき、議事を進めたいと思います。皆様の御協力をよろしくお願いいたします。それでは、会議録の公表の関係で、会議録署名人を指名させていただきます。\_\_\_委員と\_\_\_委員をお願いいたします。それでは、早速、審議に入りたいと思います。答申書については、第2回から第4回までの委員会における審議結果に基づき、作成させていただきました。委員の皆様には、事前に送付させていただいておりますが、特に問題はないということによろしいでしょうか。

<意見なし>

○**委員長** それでは、次に答申に移りたいと思います。ここからは、一度執行機関に進行を移します。

○**執行機関** これより答申に移りますが、市長を呼んでまいりますので、しばらくお待ちください。

＜市長到着＞

○**執行機関** それでは、**委員長**から高橋市長へ、平成28年度行政評価についての答申を行います。**委員長**よろしくお願ひいたします。

○**委員長** 水戸市長高橋靖様、水戸市行政評価委員会委員長**\_\_\_\_\_**、平成28年度行政評価について、当委員会に諮問がありましたことにつきまして、別添の答申書のとおり、答申いたします。1年目評価は、イベント6事務事業についてですが、評価方法、市の負担や協賛金のあり方について、検討の必要があると思われまふ。2年目、3年目評価は滞納整理事務についてです。延滞金について、おおむね改善されていまして、評価終了となる事務事業も多くありました。4年目、5年目評価は、公の施設の管理運営についてですが、一部は引き続き評価の対象としました。各部署とも我々委員会の意見を踏まえて、真摯に改善に向けて努力してくださいました。引き続きよろしくお願ひいたします。以上でございます。

○**高橋市長** ありがとうございます。

○**執行機関** **委員長**、高橋市長におかれましては、一旦着座いただきまして、**委員長**から答申の内容について御説明をお願ひいたします。

○**委員長** それでは答申書について御説明させていただきます。当委員会は2か月にわたって5回開催されました。各委員におかれましては、担当部署へのヒアリング等を実施していただき、積極的な審議を行いました。新規評価は、6事務事業を各委員に振り分けて、それぞれ評価していただきました。1番目の「こみっとフェスティバル」については、NPOやボランティア団体が連携するイベントであり、内容、やり方も適切であると思ひます。市がどこまで関与するかという課題はありますが、現状のまま継続して実施していただき、行政評価は1年目で終了としました。2番目、3番目の農業祭・商工祭は一つの事業として運営しているとのことですが、関係団体の負担割合の検証、来場者数の目標設定方法の見直し等をお願ひしたいという評価となりました。4番目の水戸黄門まつりは、水戸市を代表するイベントではありますが、協賛金や市の負担金が固定化しています。市の補助金がどの辺りまでいくのか、十分な検討がなされていないように見受けられました。また、来客者数を明確にカウントせず、県内・県外の割合がわからない状態でした。今までは反省会をもって評価されていたので、他県の主要なイベントを参考にするなど、まつりの評価方法の検討をしていただきたいと思ひます。併せて協賛金の在り方を検討していただき、引き続き評価を続けることとしました。七ツ洞公園再生事業について、公の施設としては特徴的な施設なのですが、あまり周知されていないのが現状です。広報の手法を工夫していただき、継続という評価になりました。6事務事業のうち、こみっとフェスティバル以外は引き続き行政評価の対象としました。継続評価は2年目評価から5年目評価まででございます。まず、2年目評価は、滞納整理事務と不納欠損処理についてです。不納欠損処理については、全庁的に様式化して改善の工夫がなされていたので、今年度で評価終了としました。下水道事業受益者負担金滞納整理事務については、滞納整

理の取組がなされていると判断して、今年度で評価終了としました。開放学級事業保護者負担金滞納整理事務については、滞納が発生してから今年度で10年目なので、来年度には時効を迎えることとなります。その処理をどのようにするか注目されますので、適切な債権管理をしていただくために来年度も評価の対象としました。次に3年目評価について、保育所保護者負担金滞納整理事務は、昨年度はほとんど手付かずの状態でした。昨年度後半から今年度にかけては、適切な滞納整理がなされていたので、今年度で評価終了としました。その他延滞金の徴収については、収納対策本部が中心となって、延滞金の処理を適切に行っていたことから、今年度で評価終了としました。4年目評価は、斎場管理運営事務についてです。いろいろと調査、検討がなされていましたが、まだ充分とは認識できなかったため、来年度も引き続き改善を実施していただくという評価になりました。5年目評価は、4事務事業のいずれも改善に向けて取り組んでいるものの、十分な改善がみられるとは認識できませんでした。公設地方卸売市場管理運営事務は、経理状況は良いというのは理解しましたが、当面は市直営で進めるという方針が明確にされていませんでした。今年度後半に検討されるそうですが、明確な方針を確認した上で、引き続き来年度まで行政評価の対象といたしました。保育所管理運営事務と幼稚園管理運営事務についても、方針が若干不透明であると思われましたので、引き続き評価を継続することとしました。以上、5年目評価まで、一つ一つ委員の皆様と議論していただいて答申書を作成いたしました。よろしくお願いいたします。

○**執行機関** ありがとうございます。それでは高橋市長から御挨拶を申し上げます。

○**高橋市長** まずは私のほうから御礼申し上げます。この度は委員の皆様と熱心な議論、答申を頂きましたこと、心より御礼と敬意を表したいと思います。本当にありがとうございました。東日本大震災以降、行財政も厳しい状況が続いております。税金につきましては若干の回復基調となってきておりますが、社会保障費が高くなっています。国保や介護もいくぶん改善傾向にあるものの、高い状況が続いております。団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて、財源の確保や、制度設計などの準備を適切に進めていく必要があります。しかし一方では、社会保障費にばかり目を向けていては、地域の活性化や振興がおろそかになってしまうということもございます。バランスを意識して政策を進めたいと考えております。今回はイベントについて、委員の皆様といろいろ御指摘を頂きました。我々も、『これは少し違うのではないか』、『ここは見直したほうがいいかな』ということを思いながらも、過去の在り方を踏襲してしまっていたという、大いに反省すべきところがありました。自分たちでできないところは、外部からの知恵やアイデアを取り入れて、手法を考えながら見直しや改善を図っていかなければならないと考えております。委員の方々の御指摘をしっかりと受け止めて、いろいろな角度からイベントの見直し、検討を図ってまいります。また、継続評価いただいた事業については、長い間そのままになっているものが多くございます。幼稚園や保育所の適正配置や、運営方針の在り方については、私が市長に就任した時から教育委員会に指示しておりますが、なかなか良い考えが浮かばない、一歩が踏み出せない状況です。教育委員会の中だけで議論するというやり方が、オーソライズされていないのではないかと、という思いがあります。例えば、公立の幼稚園や保育所が認定こども園をやろうとすると、利用者である市民の方が難色を示すことがあります。保護者の立場からすると『幼稚園と保育所が一緒になることで、何か変化が起こる

のではないか。今のままでいいのに。』という意見がみられます。そういった反対が出て、委縮してしまって計画が終わってしまうという現状です。何か後押しが必要なのでは、オーソライズされた、例えば有識者会議を設置して、専門家の方々に意見を頂くことも一手かと思えます。民間企業であれば、経営方針は自分たちで決められますが、行政の仕組みというのはそうではありません。対市民、ステークホルダーがいらっしゃるものですから、市民に納得していただくために、オーソライズされたバックアップが必要かと思いました。改善が進まない部分については、第三者の目線で協議していただいて、前進させるという手法もあるかと思っております。有識者会議の設置なども視野に入れて、一步でも前進させたいと思っております。現在、水戸市行財政改革プラン 2016 を策定させていただきました。第6次総合計画も、三か年実施計画の中で後半戦が見えてきました。引き続き緊張感をもってそれぞれの計画を進めてまいります。水戸市は一昨年から昨年にかけて、個別計画をかなり作りました。それぞれに期間がありますので、各担当課には、個別計画との整合性をもった予算の要求や、スケジュール化を指示いたしました。一番大きい計画は第6次総合計画ですが、その下に続く個別計画、さらにはそれらを遂行するための水戸市行財政改革プラン 2016、これらの整合性を図りながら、政策を進めていきたいと考えておりますので、引き続き委員の皆様のご御支援、御助力を頂ければと思います。答申いただきましたことをしっかりと受け止めて、継続という言葉が無くなるよう努力してまいりますので、引き続き皆様のご御支援をいただけますようよろしくお願い申し上げます。以上、私より御礼の挨拶とさせていただきます。

○**執行機関** これより、市長と委員の皆様との意見交換の時間を設けさせていただきたいと思えます。

○**高橋市長** ありがとうございます。自分たちでやっっているながら、なぜと思うところが多々ありました。農業祭と商工祭が分かれていて、それぞれにお金を出し合っているという状態になっていることは、言われてみれば確かにおかしいと感じます。一つのイベントとして、人や資材、お金のやり取りの効率化を図らなければならないと思いました。

○**\_\_\_委員長** 一般の人には、農業祭と商工祭に分かれているという認識はないです。執行機関の方に、『事務が分かれていることで、何か弊害はありませんか。』と伺いましたが、特にそういうことはないということでした。ただ、事業費の積算の仕方や、目標値の設定の仕方などが明確ではないと思いましたので、意見として申し上げました。

○**高橋市長** 例えば、テントをまとめて設置して、後で折半するというのはどうでしょうか。面積割りにするとか、出店者数で割るのはどうでしょうか。

○**\_\_\_委員長** 商工祭は出店料を取っていて、農業祭は取っていないという違いがありましたよね。明確性がどうかということで、検討をお願いいたしました。

○**高橋市長** 商工祭のほうはいろいろなお店が出ていて、そこからは出店料を取っています。直売所は農協直営なので、出店料というのは少し違う気がします。農協として何らかの形で負担しているのか、165万円の負担金に出店料を乗せて出しているのか、そこは精査しているわけではないです。今回、お金の動きを明確にという御指摘がありましたので、今後はお金の根拠を精査していこうと思えます。開催場所の問題も指摘されておりますが、東町体育館ができれば、イベント開催が可能ではないかと考えています。見川の総合運動公園では、場所が足りなくて体育館の外も利用していました。東町運動公園体育館は、メ

インアリーナとサブアリーナと会議室がありますので、火を使う店を除いた全てを収容できるものと考えています。そうなれば、大きな経費を占めていたテント代がかからなくなると思います。

○\_\_\_委員長 屋内でいろいろな店を出すということですか。

○高橋市長 そうです。屋内で火を使うのは、消防法上難しいと思いますが、直売所などは品物を並べて販売するのですから問題ないと思います。テント設置の費用を削減できますし、雨の心配もなくなります。平成 31 年以降の話になってしまいますが、それも一つの手かだと思います。街中ですから、駐車場が足りないという場合には、電車やバスなど公共交通機関の利用を呼びかけることもできます。駐車場についても、桜山駐車場からシャトルバスを出せば 1 千台ほどの駐車場を確保できます。委員の先生方から、何か御指摘はありますか。

<意見なし>

○高橋市長 黄門まつりについて、市民参加型にするか、観光交流型にするかの絞ったほうがいいのかという御指摘を頂きました。私どもとしまして、観光交流人口を 450 万人まで増やすことを目標としておりまして、外からのお客様を呼び込んで、経済のエンジンを回していきたいと考えております。観光型のおまつりの要素を強めていきたいという思いがあります。青森ねぶた祭や山形の花笠まつり、仙台七夕まつりなどは、特徴があるからわざわざ外から泊りがけで見にくるお客さんがいるわけです。残念ながら、水戸黄門まつりは市民まつりに甘んじています。私も黄門様の恰好で参加したことがありますが、黄門行列に興味を示す人がほとんどいませんでした。興味を示すのは芸能人が出てきた時ですから、毎年いかに人を呼べる芸能人を招くか、そこにお金がかかってしまいます。しかし、水戸黄門の番組が終わって 5 年ほど経っていますから、呼ぶ人のネタが尽きてしまいました。以前は、その年に出演していた俳優さんと呼んでいたのですが、もう番組が終わってしまいましたので、呼べる人がなくなってしまいました。今年は思い切って、水戸黄門とは全く関係ない方を招いてみました。お客を呼び込むために、水戸黄門と関わりない人を起用するというのはどうなのだろう、まつりの在り方そのものを考え直していかなくてはならないと感じています。

○\_\_\_委員長 感覚評価では来客者数は 90 万人とのことでしたが、その中で県外からのお客はどのくらいいるとイメージされていますか。

○高橋市長 従来 of 計算の積上げなので、それも大雑把な数字です。水戸の梅まつりは、茨城県がカウンターを付けて数えています。それに比べたら、かなり大雑把といわざるを得ません。梅まつりは来客数が 100 万人を超えてと言われていましたが、カウンターをつけて計測したところ 50 万人前後との結果が出ました。これは東日本大震災のために落ち込んでいるとの意見もありますが、私は違うと考えております。例えば、梅まつり期間中の好文亭の入場者数は震災前とほぼ変わっていないことが挙げられます。偕楽園の入場者が 100 万人だった時と、震災後 50 万人まで落ち込んだ時と比べて変わっていないのです。震災後にいきなり好文亭の入場者数が増えたとは考えにくいので、元々の来場者数が 100 万人はいなかったのではないかと思います。黄門まつりはカウンターを用いているわけではないので、どのようにして正確な数字を把握していくか、難しい現状ではあります。

○\_\_\_委員長 まつりをどのようにしていきたいかを市民に問うアンケートは行っていま

すか。

○高橋市長 いいえ、行っておりません。

○\_\_\_委員長 インターネットなどを利用して、市民の意見を集めることも重要かと思えます。

○高橋市長 例えば学生ボランティアの協力を得て、会場内でアンケートを取ることや、全駐車場に人員を配置して、車両ナンバーによってどこから来たかを把握するなど、そういうことができたかと考えています。他にも、電車で来る人たちについてどこから来ているのか、JRの協力を得てデータを集めることもできるのではと思います。これまでは、まつりの運営に一生懸命になるばかりに、『アンケート調査をすると〇〇万円かかる、それなら花火にまわそう。』という流れになってしまっていました。基礎的データを持たないままであったことは反省すべき点であると、答申を頂いて改めて思いました。

○\_\_\_委員長 同時期に開催しているロックイン・ジャパン・フェスティバルと連携してはどうかという意見が出ていますが、どうでしょうか。

○高橋市長 それもありだと思います。しかし、ロックイン・ジャパン・フェスティバルのお客さんは、朝の8時30分頃にはバスに乗ってひたち海浜公園へ向かっています。水戸を早い時間に離れてしまい、帰ってくるのが夜の10時過ぎになります。水戸黄門まつりはその頃には終わっています。時間帯が合わない中でどうやって連携を取っていくか、難しいところです。ただ、ホテルが満室になるくらい来てくださっているのです、何かおもてなしできることはないかと考えています。コンサートの二次会のようなことができれば、黄門まつりの協賛事業として、水戸に帰ってきて1時間くらい楽しんでくださいということができたらいいと思っています。まだ具体的なアイデアはないのですが、今の音楽に親しんでいる若い人たちの意見を取り入れながら考えていきたいと思っています。次に大きな課題として、幼稚園、保育所の問題が進んでいないことが挙げられます。私が市長に就任して6年目になりますが、就任してすぐに指示を出しましたが一向に進まない状態です。現在、水戸市立幼稚園の中で、定数に対する充足率は50%台です。基本は子どもたちに対する保育サービスを充実させることなのですが、私たちの生き残りもしっかり考えなければなりません。民間と競争するためにはどのような運営が良いのか、どのようなサービスを提供すれば良いのかを考える必要があります。保育所は希望者が多いので、民間保育所のほうが人気はありますが、定数まで入ることができています。しかし、保育所が余るような状況になれば、保育料は公立も民間も変わらないので、いろいろな工夫をしている民間保育所のほうに流れてしまう、そういった事態も想定されます。幼稚園は既に十数年前からそのような状況になっています。それを変えられなかったことは、我々の落ち度であると思います。行政として、認定こども園も始めたほうがいいかもしれないとも考えております。特に民間幼稚園は、生き残りのために必死で努力されています。音楽、英語、芸術などいろいろ特徴ある幼児教育をされています。我々はそこまではしていない、さらに2年保育だけなので競争力がありません。我々行政はスタンダードな管理運営をしますから、幼稚園ごとに特徴ある教育をすることは難しいです。有識者会議を設置したり、外部の力を借りて改善を図っていきたくて考えています。その他御指摘などはございますか。

<意見なし>

○高橋市長 セツ洞公園は、ボランティアなど民間の力を頂きながら、うまく運営してい

ます。しかし、イベントを開催するようになってから悩みが出てきました。委員の方から御指摘いただいた、民間主体の実行委員会を設置していることに関してです。イベントを行っているのは水戸市公園緑地課なのですが、公園の設置・管理運営が本業ですので、イベントの企画運営という仕事は畑違いで、センスの良いイベントを作るということは難しいです。そのため、民間の実行委員会に、補助金の金額は引き下げた上で、これまでと同じようにお願いできたらと考えています。再生事業を始めてから、公園の入場者数が5倍くらいになっています。

○\_\_\_委員長 この公園は誰の発想で作られたのですか。

○高橋市長 元水戸市長である佐川一信さんです。芸術館や、ヤギのチーズ作り、七ツ洞公園など、水戸に新しい文化を持ち込んだ方です。私たちが磨き上げていなかっただけで、良い素材を残してくださったと思っています。せっかく作った特徴あるイングリッシュガーデンなので、運営の在り方や運営主体をどうするか、検討が必要であると考えております。

○執行機関 懇談中誠に恐縮ではありますが、時間の関係で、以上をもちまして答申を終了とさせていただきます。なお、高橋市長は公務のため、ここで退席をさせていただきます。

<市長退席>

○執行機関 それでは、引き続き、\_\_\_委員長に進行をお願いいたします。

○\_\_\_委員長 皆様お疲れ様でした。ただ今の高橋市長の御意見を踏まえて、今年度評価、あるいは来年度に向けて、何か御意見などありますか。

<意見なし>

○\_\_\_委員長 公設地方卸売市場について、今年度中に水戸市の方針を決めていただくということでした。5年目評価がすべて残っていることも問題かと思えます。やはり保育所や幼稚園の管理運営は難しいのでしょうか。

○執行機関 はい。平成18年度から10年間にわたって検討を続けている状態です。

○\_\_\_委員長 2年目、3年目評価は、滞納整理事務についてでした。水戸市として、問題意識を持って改善していただいて、有り難く思っております。新規評価のイベントについて、いろいろと課題があるということで、問題意識を共有できたと思えます。引き続きよろしくお願ひしたいと思います。その他御意見がなければ、執行機関に引き継ぎたいと思えます。

○執行機関 今後のスケジュールについてですが、市長を本部長とする水戸市行政改革推進本部において、3次評価を実施し、市としての方向性を最終決定してまいります。また、今年度の行政評価については、終了となりますが、来年度については、10事務事業程度の新規評価を行うとともに、今年度に見直しの上継続と評価されたものについて、引き続き評価を行う予定であります。皆様ありがとうございました。

○\_\_\_委員長 それでは、平成28年度第5回行政評価委員会を終了いたします。委員の皆様におかれましては、長期間にわたり、精力的に調査、審議を頂きましてありがとうございました。